

# OKINAWA DARC MESSAGE

# Q S K



# 沖縄ダルクからのメッセージ

## No123

## 2016年8月



## 社会を明るくする大会 (宜野湾市民会館)

## 7月21日

盛夏。暑中お見舞い申し上げます。私にとってはシラフで迎える9回目の沖縄の夏となりました。先月は、初めての尿管結石で七転八倒したり、偏見からの中傷を受けたりで体調も気分的にも優れず悶々と過ごす日が多くありました。

が、夏本番を迎え誕生月でもある8月、暑くとも爽やかな美ら島沖縄の夏は、いつもの年と同じように、チカラが漲る大きなエネルギーを与えてくれています。

とても良いタイミングで地域の各分野の方々の前で話す機会が頂けました。宜野湾市での「社会を明るくする大会」、読谷村での「青少年健全育成決起大会」の大きな集まりでの講師、県精神保健センターでのアデイクション連絡会議、中学校での講演。今だからこそ伝えたい！回復のための我々の本気の活動と想い、仲間の本気の姿、そして依存症に対して偏見のない正しい理解を精一杯もどめました。

何人かの方々から、とても心暖まる言葉や感想、激励を頂きあらためて喜びを感じ我々の生かされている使命を再認識しております。私たちは、薬物抜きの新しい生き方の中で、人に必要とされ、役に立ち、褒められ、愛されることが究極の幸せであります。

神の計画とハイヤーパワーに感謝

7月27日 森廣樹 (影虎)

### ◆もくじ◆

P1 代表 森の挨拶  
P2 仲間の体験談他  
P3 新聞掲載  
P4 活動報告

P5 活動予定、報告  
P6 献金、献品報告  
付録 会員募集

発行元：

九州障害者定期刊行物協会

福岡県福岡市中央区天神1-16-1

編集：沖縄ダルク

## 二度目のダルクの中で

## よっちゃん

本命の薬物は覚醒剤です。十代でシンナーを覚え壊れました。二十代でマリファナ、覚醒剤を覚えました。その後、覚醒剤が止まらず精神病院の入退院を繰り返し、そして十二年前ダルクに繋がりました。プログラムを受け3ヵ月くらいした時にハワイの世界コンベンションに参加した帰り道、飛び出して実家に帰りました。家族は「沖縄に帰るなら、一晩泊めてやる」と言われた為、3日後に沖縄ダルクに戻りました。それから2週間くらいは死んでました。当時のスタッフに「この世の終わりの顔してるね」と言われました。その後、何とか気持ちを入れ替えました。「もう帰るところはないんだな」と。

そしてエイサーに、ミーティングに励みました。先行く仲間について行きミーティングでは仲間の話に耳を傾け、エイサーの猛練習、そして3年が過ぎアルバイトに出ました。ラーメン屋で仕事をする事になりました。働き始めた頃は幻聴で頭を押さえた時もありました。しかし実家が製麺所ということもあり、慣れたら楽しく働けました。お金が貯まり始め、アパート探しを始めました。始めは中々見つからず、結局一年もかかってしまいました。そしてアパートとハウス半々の生活が始まりました。お金があったので、フィリピンのコンベンションに参加しました。買い物をし過ぎてしまい施設長にお金を借りるなどのトラブルもありましたが無事に帰ってつきました。フィリピンから帰って来て退寮時の恒例行事である「パイ投げ」をして、いよいよ退寮かと思ったら、まだだと言われました。ムカついたので、ビールを飲みました。その事を正直に話し自主退寮しました。もうダルクは関係ない。その反動で酒も毎日飲みました。さらに10年間止まっていた覚醒剤にも手を出しました。妄想が酷くなり、周りの仲間が心配しました。どうしようもなくなり、ダルクに相談しました。とりあえず入院しようとの事でした。そして退院した日の帰りに、私はトラックを盗んで部屋まで帰りました。しかし携帯が無い事に気付きトラックまで戻ったら逮捕されました。留置所にいる時も、拘置所にいる時もダルクのスタッフの方が面会に来てくれました。とても癒しになりました。そして二度目の入寮を決意しました。今は毎日が新鮮です。ハーブで命を落とした仲間の悲しさや、覚醒剤でおかしくなった頭も仲間のみんなが癒してくれました。まだ始まったばかりですが、焦らずゆっくり回復したいと思っています。

## 回復

## ミヤ

私は10代の頃から薬物・アルコールに手を出していました。1番手を出していたのがアルコールでした。特に泡盛が好きで毎日のように飲んでいました。飲む時は一升でした。

お酒を止める事が出来ず何度も病院に入院したりしましたが、それでもお酒を止めることが出来ませんでした。退院してもまたお酒を飲む日々が続きました。そんな毎日が続いているうちに体の方がついていけなくなりました。

このままだと仕事も続けられそうもないと思ったので、この頃からお酒を止めたいと思い始めました。しかし止めるのはそう簡単ではありませんでした。欲求に勝てず、止めようと思ってまた飲んでしまうその繰り返しでした。自分の力だけではやめられないと思い、ダルクを訪ね入寮しました。はじめはみんなと一緒に行動するのも疲れしました。でも今はお酒を飲まないで生活できています。朝も決まった時間に起き、ごはんも三食しっかり食べ、規則正しい生活が来ています。段々と薬物・アルコール無しの生活が楽しめるようになってきました。

## 「生き方を変えるために～罪と向き合う心」 上映会感想文の紹介

5月30日ダルク「生き方を変えるために～罪と向き合う心」がじゅまる沖縄 名嘉ちえりさん協力

・刑務所の一步前にいる環境なので始まりから凄く関心を持ちました。人からの話しか聞いてない為、イメージでしか想像できていませんけど、この作品を通してより一層リアルに知ることが出来ました。刑務所体験というのは、短期間であれば人生にとって大事なかもしれませんが、それでもやはり人間が行く所ではないと思いました。それは人間扱いされないからです。ここで更生して社会に有用な社会人として戻る為、必死に前を向いて進んでいきます。一番ぐつときたシーンは刑務所を出た後の施設での生活で、ある一人の男性の子供が殺された時の話で、殺した奴に復讐するのではなく、死んだ息子に敬意を払うということの話。世界に沢山いる子供たちを救う事や息子がやってきた悪さを、自分は必ず侵さないという事で、天から誇りに思えるという事で、まずは育てた親がその現場で起こったことを素直に受け止める事が大事だと勉強になりました。(マサ)

・アミティという更生施設が刑務所の中で終身刑者に対して行っているミーティングの中で子供の死や中絶が語られていた。薬物事犯で刑を受けている人に中で語られる言葉が家族と上手く行っていない私自身が抱えている問題に全てが似ていて、将来自分が犯罪者になってしまわないようにダルクの仲間に正直になって助けをもらい大事にしたいと思いました。(ルカ)

・最初見た時は、「かわいそう」としか思わなくて、あんまり入って来なかったけれど、見ているうちにボランティア活動とか、本音で語り合うとか、皆頑張っていて、凄く感動した。終身刑の人でも、希望をもって活動しているのを見て、元気を貰えました。自分も、二度と薬物に手を出さないように頑張ろうと思いました。(りん)

・終身刑のグループセラピーの輪の中で、自分も刑務所に入ったことがあるが無期懲役の人たちが多くいた。その中でもやはり、普通の受刑者の人たちよりも考え方が全然違って、なんでも積極的に前向きに頑張っていた。LIFERSはやっぱり外国のシステムで日本でそういう風になるかと思えば無理だと思う。しかし同じ仲間の家族を助けたりしている人たちに感動した。日本では無理だと思う。自分だったら同じ立場でも信用できない。LIFERSとダルクを比べても、仲間を信用する、信じる力が全然違うなと感じた。(コウタ)

・正直かなりヘビーな内容だった。それだけに、これを見る事によって、自分の事としてとらえると、心底怖い気持ちになった。そういう意味でこういうドキュメンタリーを見るのはとても意義のある事だと感じた。(ボブ)

・人生は本当に苦しい。でも生きたい。幸せになりたい。(ルー)

・ライフーズを観て、人は本当に変わることが出来る事を実感する事ができました。何年もの間同じ話をしながら回復していくのは大変な作業だと思いますが、仲間の存在はとても大きいのだなと思いました。自分に置き換えて、本当に変わる為にはどういう事が必要なのか本当に考えさせられました。長い時間をかけて本当の回復に挑戦したいです。(トミー)

・青春がない人たちなのだなと思った。可哀想。少し共感できた。僕も病院の閉鎖された場所にいましたが、そこよりはました。仲間は素晴らしいと思った。(よっちゃん)

## スポーツ交流 7月13日

琉球ガイアさんとの因縁の対決は9-8でダルクが勝ちました！劇的なホームランもありました！





## 講演 報告



7月は『上本部中学校』『社会を明るくする大会』『読谷村青少年健全育成村民決起大会』に招かれました。地域の皆様へ薬物依存症に対する正しい理解のための講話させていただきました。とても良い機会を与えて頂き感謝です。



### 読谷村青少年健全育成協議会様より感想を頂きました。

「薬物依存症が病気で治療が必要なのがあった。」  
「講師が感情を込めて話してくれたので感動した。」  
「子ども達へ正しい情報を伝えたい」等様々なご意見を頂きました。今までは「薬物を使用するものが悪い」という認識でしたが、人は誰でも弱い心を持ち孤独な心を埋める為に何かしら依存している。たまたま薬物に頼りすぎて、エスカレートして悪循環のサイクルにはまるのだという事が理解できました。孤独な心を埋めるには、人と人の繋がりであるはずで。我々の活動方針である地域ぐるみの、人と人の温かい繋がりであるはずで。

### 6月の沖縄県立南部商業高等学校での講演で教員の方々から感想文が届きました。

- ・本人の体験談という事で、とても説得力があった。
- ・実体験に基づいた講話だったので、生徒も興味があったようでした。
- ・実体験を話してくれた内容が良かった。
- ・薬物経験者の話だからこそ、生徒も真剣に聞いている気がしました。
- ・実体験から語られるメッセージには迫力と重みがありました。生徒の様子からも心に響いた事がわかりました。
- ・やはり当事者の体験に基づく話ほど身に迫るものはないと思います。どの生徒も思い当たるようなきっかけから薬物に手を出しているお話だったので、危機感を身近にもって欲しいです。

## 沖縄病院夏祭り ボランティア



毎年恒例の沖縄病院 夏祭りの会場設営のお手伝いをさせて頂きました！炎天下の作業の中汗だくで作業しました。地域の皆様の役に立てる事はとても嬉しい事です。ありがとうございます！



## 7月活動報告

2日 (土) デイサービス竹園エイサー演舞	デイサービス竹園
3日 (日) 東京個別相談会	品川
4日 (月) 久里浜少年院面接	久里浜少年院
5日 (火) 石垣『依存症を考える会』参加	八重山保健所
5日 (火) ~ 11日 宮崎ダルク合同プログラム	
8日 (金) ボランティア団体助成金交付式	宜野湾市社会福祉センター
9日 (土) 沖縄フォーラム	沖縄科学技術大学院大学
11日 (月) 上本部中学校『薬物乱用防止講座』 講師 森 廣樹	上本部中学
14日 (木) 沖縄少年院意見発表会	沖縄少年院
15日 (金) 読谷村青少年健全育成決起大会 講演 講師 森 廣樹	読谷村文化センター
17日 (日) 茨城ダルクフォーラム24周年	結城市アクロス
20日 (水) アディクション連絡会議	精神保健福祉センター
21日 (木) 社会を明るくする大会 講師 森 廣樹	宜野湾市民ホール
21日 (木) ・ 22日 (金) 沖縄病院夏まつり下準備ボランティア・夏まつり	沖縄病院

## 8月活動予定

6日 (土) 沖縄ダルク家族の会 群馬ダルクよりゲスト講師 (平山氏・ショーン氏) を迎えて	『サントウアリオ』デイケア
7日 (日) NA運営委員会	JCO
7日 (日) 東京個別相談会	品川
16日 (土) 八重山家族会	八重山保健所
26日 (金) 天久台病院納涼祭 エイサー演舞	天久台病院
27日 (土) 『クレアドール』改装披露パーティー	クレアドール

### 『家族会・家族教室』

第1水曜日 家族教室 (ビギナーメンバー)	サントウアリオデイケア
第1土曜日 家族の会	サントウアリオデイケア
第4日曜日 家族教室 (レギュラーメンバー) (旧盆のため変更)	北谷保健相談センター
毎週金曜日 ヨーガプログラム	大謝名公民館
毎週金曜日 ボランティアの日	デイサービス竹園 (清掃) ・ 特別養護老人ホーム森城 (清掃) 金武バプテスト教会 (清掃) ・ 那覇バプテスト教会 (清掃) ミミズク農場 (弁当作り手伝い) ・ 特別養護老人ホーム光が丘 (清掃)
毎週土曜日 ウチナーファーム エイサー演舞	

## 編集後記

今頃の沖縄は太陽の光があふれる素晴らしい季節です。この自然に恵まれた贅沢な環境の中、沖縄ダルクの皆はスポーツにレクリエーションにとしらふでしっかりと南国の夏を楽しんでいます。先日も他施設との野球の交流試合があり、逆転ランニングホームランが飛び出すなど笑顔の絶えない健康的な楽しい時間を過ごしました。また、今年も韓国より伝導で来られた方達とのあたたかな交流があり、王宮を思わせる素敵な舞踊を見せていただき、私たちのエイサーを披露させてもらいました。仲間とともに薬を使わないしらふの時間を楽しみながら過ごしています。どうぞ、皆様も楽しんで夏をお過ごしください。

スタッフ 長久保剛 (オギクボ)





## 支援者の皆様方へ



沖縄ダルクへの献金、献品を頂いた方々ありがとうございます  
心より感謝申し上げます

### 6月25日～7月25日到着分の献金

岸本貴志 (株)沖縄歯科器材 長久保江世 富田安世 玉城志保 小田桐美穂子 仲谷三好 立松薫  
武村福美 小池和弘 宜野座哲 荻野恵美子 ヒューバ和恵 中村綾子 中村澄子 富永アイ子  
森下幸子 (有)沖縄サンコースト 読谷村教育委員会 中部南保護区保護司会 フルゴスペル教会  
星勉 星幸子 聖マリアの汚れなき御心のフランシスコ姉妹会 吉村正夫法律事務所 有江文子  
佐和田ゆかり 稲村幸子 加藤郁雄 ゲンティスアンフウン ニコル麻莉子 杉岡榮治  
日経教育グループ(株) 島袋榮治 沖縄ダルク家族の会 その他多数の匿名の方(順不同・敬称略)

### 6月25日～7月25日到着分の献品

ガイア フルゴスペル協会 リョウセイ デイサービス竹園 水谷恵美 岸本登美子 宮崎ダルク  
相模原ダルク しのめケアハウス 立松薫 ニコル麻莉子 茨城ダルク 富田安世  
沖縄ダルク家族の会 その他多数の匿名の方(順不同・敬称略)

### 6月25日～7月25日の献金合計 ¥434,950-

◎『沖縄ダルクを支援する会』新規会員募集のお知らせ。(別紙付録をご参照下さい)

◎”お陰様で、女性4人が新しい寮で生活を始めました”(カーサヴェルデ)

引き続き女性ハウス運営にご支援宜しくお願い致します。

何時もの事で大変心苦しいお願いですが、献金・献品(車・家具・家電・食料等)をお願い致します。

発送作業簡素化のため郵便振替用紙は皆様全員に同封させて頂いております。ご理解の程お願い致します。  
また、お手数ですが匿名希望の方はその旨を通信欄に、その都度ご記入下さりますようお願い致します。

ホームページ『沖縄ダルク』<http://okidarc.or.jp>  
facebookでも活動の様子をご覧になれます。『沖縄ダルククレアドール』・『沖縄ダルクサントウアリオ』と検索してください。

Drug Addiction Rehabilitation Center

# DARC

定価 100円(会費に含む)

郵便振替口座

01770-1-142380

沖縄ダルクを支援する会

編集

〒901-2221

沖縄ダルク

沖縄県宜野湾市伊佐1-7-19

TEL (098) 893-8406 FAX (098) 917-2560

Eメール [daycare@okidarc.or.jp](mailto:daycare@okidarc.or.jp)

アドレス <http://okidarc.or.jp>

発行：九州障害者定期刊行物協会 福岡県福岡市中央区天神1-16-1 7F

# 『沖縄ダルクを支援する会』 会員募集のお知らせ

平素は沖縄ダルクの活動にご理解、ご協力をいただきまことにありがとうございます。  
昨年末より新会員の募集をはじめ、現在、おかげさまで少しずつ会員が増えてきています。  
こころより感謝申し上げます。引き続き皆様の継続的なご支援を何卒お願いいたします。  
いただきました献金は仲間の回復の為、大切に使用させていただいています。

さて、車両の修理、車検、新ハウスの運営、等、資金不足が続いています。  
どうか「沖縄ダルクを支援する会」の会員になっていただき活動をお支えいただけないで  
しょうか？

毎月、自動引き落としによる継続的な支援です。

**月一口1000円からお願いします。**(一口でも大変ありがたいです)

継続的にご支援頂けることによってより計画的な運営ができるようになります。

※たとえば毎月「一口1000円」のご献金を一年間継続していただくと、

1人の依存症者が沖縄ダルクの寮で2日間、寝食を共にすることが出来ます。

## 会員特典

毎月、沖縄ダルクニュースレターと日本ダルク本部DMC新聞を発行月に送付致します。

また、年数回のイベント、セミナー等のお知らせを致します。

(下記のお申込み用紙にご記入の上、郵送して頂くか、FAX・お電話でお申し込み下さい。  
おにかえし**自動振替利用申込書**を送付させていただきます)

お申込用紙  
切り取り

下記の住所へこの申込み用紙に必要な事項をご記入いただきお切り取りいただきご送付ください。

お名前	
ご住所	
お電話番号	口数

沖縄ダルク クレアドール  
〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐1-7-19  
TEL098-943-8774 FAX098-943-8281  
お気軽にお問い合わせ下さい。担当 長久保